

平成27年度

[2015]

履修の手引

【在学学生】

本手引の内容は Web ポータルにも 掲載されています

大学ホームページからも閲覧可能です。

（トップページの「大学インフォメーションから
「教育プログラム」へ進んでください。）

この冊子は 2014（平成 26）年度以前入学生用に、カリキュラムの変更点などをまとめたものです。自分の入学した年度の履修要件（卒業要件を含む）と併せて確認してください。

滋賀県立大学 学位授与方針（ディプロマポリシー）

滋賀県立大学では、卒業時点において学生が身につけるべき能力（教育研究上の目的）を以下のとおり定めます。これらの能力を獲得するとともに、各学部・学科に所定の年限在学し、全学ならびに各学部・学科の定める教育理念・教育目的に沿って設定された教育プログラムや授業科目を履修して、基準となる単位数を修得した学生に学位を授与し、卒業を認定します。

学位：学士

- A. 「全学共通科目」、「全学共通基礎科目」、「人間学」の履修を通じて、基礎的な知識・技術を養うとともに、社会環境の変化に柔軟に対応できる豊かな人間性と、課題を発見、分析、解決する能力に加え、自ら探求する態度と姿勢を身につける。
- B. 各学部・学科の特性に応じて編成された体系的な教育を通じて、専門的な知識・技術を養うとともに、知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題探求力、問題解決力、表現能力、コミュニケーション能力などを総合する力を身につける。

滋賀県立大学 教育課程編成・実施方針（カリキュラムポリシー）

滋賀県立大学は、「知と実践力をそなえた人が育つ大学」として、未知の時代を切り拓く広い視野と豊かな創造力、先進的な知識、技術を有する有為の人材を養成するため、環境科学部、工学部、人間文化学部、人間看護学部を置き、以下の方針に基づいてカリキュラム（教育課程）を編成しています。

A. 全学共通科目

広い視野と実践力を養い、大学の目的である高度化・総合化および柔軟性・多様性を実現するため、「全学共通科目」を設置し、外国語（英語、第2外国語）、健康・体力科学、情報処理の3科目群からなる「全学共通基礎科目」と「人間学」を設置します。

「人間学」では、主体的に学び、考える学生を育てることを意図して、「人間」という存在について具体的、現実的な問題を通して考え、人間と社会を深く見つめながら、広い視野、深い教養、そして、人権感覚を磨くとともに、新しい問題を発見する能力、新しい視点から発想する能力を身につけることを目指します。

B. 専門教育科目

専門的な知識や技能を高めるとともに、主体性、創造力および課題発見・解決能力等の育成を目指し、各学部・学科に専門教育科目を設置します。

各学部・学科の専門科目の編成に関しては、専門基礎科目（学部共通科目）、複数学科共通科目、学科専門科目といった構成およびその配当年次によって、基礎的科目から発展（応用的科目）への学習の流れに沿って展開します。

C. 副専攻

主専攻の学びを更に社会で活用できる能力を養うため、学部学科を横断した教育プログラムとして、近江楽士（地域学）副専攻を設置します。

副専攻では、「地域に根ざし、地域に学び、地域を学ぶ大学」として、コミュニケーション力、行動力、問題解決能力の3つの要素からなる社会人基礎力を強化します。

履 修 の 手 引

目 次

1 科目履修の手引の変更点

- (1) Web 履修登録・確認・取消…………… 1
- (2) 気象警報発令・公共交通機関の不通と授業についての措置…………… 1
- (3) 授業の欠席…………… 1
- (4) 成績通知…………… 3
- (5) 成績評価の疑義申し立ておよび根拠等についての開示制度について…………… 3
- (6) 他学部・他学科科目の履修について…………… 3
- (7) 授業評価アンケートの実施について…………… 4

2 カリキュラム等の変更点

- (1) 全学共通科目の履修について…………… 5
- (2) 学部学科科目の履修について…………… 12
- (3) 近江楽士（地域学）副専攻関連科目の履修について…………… 17

1 科目履修の手引の変更点

(1) Web 履修登録・確認・取消（平成 26 年度から一部変更）

学年当初に「履修登録にあたって」と時間割を配布します。各学期のはじめに設定される履修登録期間中に Web 学生ポータル上で Web 履修登録をおこなってください。履修登録期間後の履修登録はできません。登録内容を確認するため履修登録確認期間を設けていますので、登録内容に間違いがないか必ず確認してください。

※履修科目の追加および変更がある学生には、履修登録確認期間中に限り「履修登録願」（担当教員の捺印を要する）を提出することで、変更・追加登録を認めます。ただし、取消のみの変更は認めません。履修登録確認期間後の追加登録・変更は一切できません。

※各学期の授業が始まってから一定期間を経過した時点（前期：5 月上～中旬、後期：11 月上～中旬）で、履修登録の取消期間を設けますので、履修登録の取消を希望する場合は、指定された期間内に教務グループで手続きをしてください。ただし、取り消すことのできる科目数は 2 科目までとします。また、必修科目の登録を取り消すことはできません。

(2) 気象警報の発令・公共交通機関の不通と授業についての措置（平成 26 年度から一部変更）

暴風警報等が発令された場合または公共交通機関が全面運行停止（※）となった場合、授業については以下の措置をとります。

気象・交通状況	授業についての措置
彦根市域または彦根市域を含む地域に暴風警報、暴風雪警報または特別警報が発令されたとき	①発令中は休講（授業中に発令の場合、その次の授業から休講） ②午前 7 時現在発令中の場合、午前中休講 ③午前 10 時現在発令中の場合、午後も休講
公共交通機関が全面運行停止となったとき（ストライキ、災害、事故等）	①午前 7 時までに解除・開通の場合は、平常通り授業 ②午前 8 時 30 分までに解除・開通の場合は 2 時限目より授業開始 ③午前 10 時までに解除・開通の場合は 3 時限目より授業開始 ④正午までに解除・開通の場合は 4 時限目より授業開始 ⑤正午をすぎても解除・開通しない場合は全時限休講

※ 「公共交通機関が全面運行停止」とは、JR 西日本琵琶湖線（京都―米原間）の全線または一部線区が全便不通の場合をさします。

- 休講情報については随時更新されますので、掲示板および Web 学生ポータルで確認してください。
- 学外実習に関しては、当該学部で別途定めます。

(3) 授業の欠席（平成 27 年度から一部変更）

病気その他やむを得ない理由により、引き続き 7 日以上 2 か月未満（7 日未満の特例あり）、授業に出席することができない場合は、あらかじめ教務グループに所定の欠席届を提出してください。やむを得ない事情により事前に欠席届が提出できない場合は、欠席事由が解消した後 1 週間以内に教務グループに欠席届を提出してください。教務グループでは、提出された欠席届の内容を確認後、届の写しを交付しますので、それを持参の上、届出者本人が直接、当該科目の授業担当教員に対し、事情を説明してください。欠席届を受理した科目は、欠席として取り扱いません。

ただし、授業担当教員が非常勤講師の場合は、教務グループの指示に従ってください。

また、緊急の事情により事前に届け出られない場合は、事前に電話等により事情を教務グループに連絡してください。

注 1) 欠席理由の如何を問わず、授業科目の成績評価等に関する取扱いについては、担当教員の判断によることとします。

注 2) 集中講義等で総授業時間の 1/3 以上欠席となり、履修登録の取消を希望する場合に限り、取消を認めます。

欠席を届け出る理由	必要な証明書
病気・けが	医師の診断書
災害	被災証明書
交通事故、交通機関の運休	事故証明書、運休・延着証明書
3親等以内の葬儀	死亡に関する公的証明書
正課実習	実習証明書（指定様式）
その他大学が認める理由	理由書（本人以外の証明）

7日未満の特例：以下の欠席理由については、7日未満であっても、欠席届を受理します。

- ①「病気・けが」のうちインフルエンザ等の感染症（学校保健安全法施行規則第18条に記載された感染症）にかかり欠席する場合、同法19条に記載された出席停止期間の欠席を認める。

主な感染症	出席停止期間
新型インフルエンザ	治癒するまで
インフルエンザ	発熱した後（発熱の翌日を1日目として）5日を経過し、かつ解熱した後2日
百日咳	特有の咳が消失するまでまたは5日間の適切な抗菌薬療法が終了するまで
麻疹（はしか）	解熱後3日
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫脹が発生した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで
風しん	発しんが消失するまで
水痘	すべての発しんが痂皮化するまで
咽頭結膜熱（プール熱）	主要症状が消退後2日

- ②「交通機関の運休」で欠席する場合

- ③「3親等以内の葬儀」で欠席する場合（忌引き）

死亡した者	欠席できる日数	
配偶者	10日	
	血族	姻族
父母	7日	3日
子	5日	1日
祖父母	3日	1日
兄弟姉妹	3日	1日
おじ・おば	1日	1日

- ④下の「その他大学が認める理由」で欠席する場合

- ・課外活動において全国大会またはそれと同等以上の大会に出場する場合
- ・湖風祭の前日準備に参加する場合（前日準備が全学休講でない場合に限る）
- ・就職活動（最終選考相当）

(4) 成績通知（平成 27 年度から一部変更）

成績の通知については、前期科目分は後期開始前に、後期・通年科目分は翌年度の学期開始前に、教務グループから本人に対し Web 学生ポータルを通じて行います。

また、入学手続き時に保護者（保証人）（以下「保護者等」といいます）あてに成績通知書の郵送を希望した保護者等については、各学期終了後に保護者等あてにも成績通知書を郵送します。20 歳以上の学生で、「成績通知書郵送停止届」を提出した者には、保護者等あてに成績通知書を郵送しないこととします。この場合、保護者等には学生本人の意向により、成績通知書を郵送しない旨の通知を行うこととします。

なお、前期の成績通知書には、前期に履修した科目（一部集中講義科目等を除く）の成績を記載しています。後期の成績通知書には、前期と後期を合わせた年間の成績を記載しています。

(5) 成績評価の疑義申し立ておよび根拠等についての開示制度について（平成 27 年度から一部変更）

本学では、学生は自らの成績評価にかかる根拠等について、当該科目の担当教員に対して開示を求めることができます。

本学では、学生は自らの成績評価に疑義のある場合、その成績の根拠等について当該科目の担当教員に対して開示を求めることができます。

① 疑義申し立てができる場合

- ・出席、課題提出、試験等に照らして、成績評価について疑義があると思われる場合
- ・シラバス等に記載されている到達目標、成績の評価方法と基準等から、成績評価について疑義があると思われる場合
- ・その他、具体的かつ明確な理由をもって成績評価に疑義があると思われる場合

② 手続き等について

まずは当該科目の担当教員に対し、直接確認を求めてください。オフィスアワー等を活用して担当教員を訪ねましょう。

担当教員から教示がない場合、あった場合でも説明が足りない、明確な根拠が示されていない等の事由により疑義が解消されない場合、または非常勤講師等により直接の確認が困難な場合に限り、「成績評価の疑義申し立ておよび根拠等にかかる開示の願出書」により、学生支援センター長（学生支援センター教務担当）を通じて成績評価の根拠等について文書により開示するようお願いすることができます。

③ 制度による願出ができる期間

担当教員への確認および願出書の提出ができる期間は、成績が通知された日から原則として 3 週間以内とします。成績保留等により成績通知書に記載されなかった科目については、当該科目の成績の確定について掲示された日から原則として 3 週間以内とします。期限を過ぎたものは受付できません。

願出書の様式や、その他詳細については、教務グループ担当までご相談ください。

(6) 他学部・他学科科目の履修について（平成 27 年度から変更）

工学部では、他学部・他学科科目の履修方法を下記のように変更しました。

○ 材料科学科

他学部専門科目および全学共通科目あわせて 6 単位を限度として、専門科目として卒業要件単位に算入することができる。ただし、他学部開設科目の履修を希望するときは、材料科学科長の許可を得た後、その科目を担当する教員の許可を受けること。

○ 機械システム工学科

工学部他学科専門科目、他学部専門科目および全学共通科目あわせて 6 単位を限度として、専門科目として卒業要件単位に算入することができる。ただし、工学部他学科専門科目および他学部開設科目の履修を希望するときは、機械システム工学科長の許可を得た後に、その科目を担当する教員の許可を受けること。

○ 電子システム工学科

電子システム工学科の科目配当表に指定する専門科目以外に、工学部他学科の科目配当表に指定する専門科目も、専門科目として卒業要件単位に算入することができる。ただし、履修を希望する科目を担当する教員の許可を受けること。

他学部専門科目および全学共通科目あわせて6単位を限度とし、専門科目として卒業要件単位に算入することができる。ただし、他学部開設科目の履修を希望するときは、電子システム工学科長の許可を得た後、その科目を担当する教員の許可を受けること。

(7) 授業評価アンケートの実施について（平成26年度から一部変更）

授業評価アンケートは、授業内容やカリキュラムの改善などに取り組むため、授業に対する学生のみなさんの意見を聞くために実施しています。原則として、すべての授業科目について実施します。いただいた意見は今後役に立てていきたいので、みなさんの真摯な協力をお願いします。

実施にあたっては、該当授業中に担当教員から指示がありますので、下記学生用Webページにログインして、画面に沿って回答してください。

携帯を持っていない場合や充電切れ等の時は、当日または翌日に学内や自宅のPC、または携帯電話・スマートフォン等から回答してください。

アンケートページにログインする際に学籍番号を入力しますが、担当教員には集計結果のみが示されるため、個人を特定する情報が提供されることはありません。

別途配布する「授業をよりよくするための授業評価アンケート」のカードを携帯し、学生用WebページのURLはブックマークをしてください。また、初回ログイン時にパスワードの変更を要求されます。変更したパスワードは忘れないようにしてください。

万一、パスワードを忘れた場合は、学生証を持参して学生支援センター窓口に出てください。

学生用Webページ

<http://usp.saai-mas.jp/>

(右のQRコードからもアクセスできます)



2 カリキュラム等の変更点

(1) 全学共通科目の履修について

① 再履修について

前年度に不合格となった科目は、今年度改めて履修することができます。修得済みの科目については、再履修することができません。再履修にあたって他の必修科目との重複により履修できない場合がありますが、どうしても再履修が必要な場合は、各自の所属する学科長に相談してください。

なお、全学共通科目の再履修についてはおおむね以下のとおりですが、詳細については科目担当教員または教務グループまで相談してください。

■第一外国語

英語 I A～IVB のいずれかが前年度に不合格となった場合は、金曜日 5 時限目に開講される英語 I A～IVB (再履修) のうち、不合格に対応するものを履修してください。なお、時間割の都合上 (金曜日に別の必修科目がある、複数の英語が不合格となっているなど)、不合格に対応する英語 (再履修) を履修することができない場合は、所属学部の英語 I A～IVB の中から不合格となった科目を履修してください。登録は Web 学生ポータル上ではできません。別途、教務グループ窓口で「履修許可願」を提出する必要があります。

■第二外国語科目 (実用英語演習を含む)

これまで履修してきた言語を再履修してください。原則として言語の変更はできません。受講クラスは、人数の調整の上、決定しますので、事前に教務グループ窓口まで来てください。登録は Web 学生ポータル上ではできません。別途、教務グループ窓口で「履修許可願」を提出する必要があります。

「第二外国語 I A・I B」を履修したが単位を修得できなかった場合で、やむを得ず第二外国語の I A・I B と II A・II B を同時に履修するときは、必ず第二外国語の担当教員の了承を得てください。

■情報処理科目

「情報リテラシー」、「情報科学概論」のいずれかがこれまでに不合格となっている場合は、当該科目を再履修してください。再履修にあたっては、情報教育担当教員に相談し、その指示に従ってください。登録は Web 学生ポータル上ではできません。別途、教務グループ窓口で「履修許可願」を提出する必要があります。

「情報科学概論」は「情報リテラシー」の単位修得が履修資格となります。

■健康・体力科学

2 回生以上の学生でこれまでに、健康・体力科学 I、II のいずれかが不合格となっている場合は、前期の「健康・体力科学 II」を再履修してください。合格した場合、不合格となっている科目を合格したものとみなします。再履修にあたっては健康・体力科学担当教員に相談し、クラス分け等の指示に従ってください。登録は Web 学生ポータル上ではできません。別途、教務グループ窓口で「履修許可願」を提出する必要があります。

② 読替えについて

入学年度により、下記に示した新科目名は、旧科目名に読み替えます。ただし、旧科目名で単位を修得した科目については、新科目名で新たに単位を修得することはできません。

■外国語科目

対象	旧科目名	新科目名	備考
平成23年度以前入学生	英語 I	英語 I A・I B	新科目の2科目とも修得
	英語 II	英語 II A・II B	新科目の2科目とも修得
	英語 III	英語 III A・III B	新科目の2科目とも修得
	英語 IV	英語 IV A・IV B	新科目の2科目とも修得
	英語 VIA	リスニング(中級)	
	英語 VA	リーディング(中級)	
		英語表現法	
		留学英語対策基礎講座	
		留学英語対策講座 I	
	英語 VB	英語会話(中級)	
		エッセイ・ライティング	
		留学英語対策講座 II	
	英語 VIA	メディアの英語	
	英語 VIB	ディベート&ディスカッション	
ビジネス英語			
時事英語			
第二外国語 I	第二外国語 I A・I B	新科目の2科目とも修得	
第二外国語 II	第二外国語 II A・II B	新科目の2科目とも修得	

■情報処理科目

対象	旧科目名	新科目名	備考
平成21年度以前入学生	情報処理演習 I	情報リテラシー	

■人間学科目

人間学科目は、毎年度の科目構成の見直しにより、入学時の履修の手引き記載の開講科目から変更点が多くあります。

次ページ以降に、入学年度ごとにその変更点をまとめたカリキュラム表を掲載しますので、入学時の履修の手引きと併せて確認の上、履修計画を立てるようにしてください。

特に、専門科目として分類される科目や読替えのある科目には十分注意してください。

○人間学科目の卒業要件 (2010年度～2014年度入学生)

必修科目 2科目 4単位

選択科目 4科目 8単位

2010 (平成22) 年度入学生用人間学科目一覧

クラスター	科目	定員	単位	備考
必修	[環境マネジメント総論]		2	廃止 「地域共生論」で読替え
	人間探求学		2	
こころ (Ethics)	差別と人権 (同和問題)		2	
	民族と宗教		2	廃止
	比較文明論		2	廃止 地域/デザ/栄養/関係は専門科目扱い
	東洋思想時空論		2	廃止
	身体・宇宙・芸術		2	廃止
	セルフケア論 (心理臨床論)		2	廃止
	人間にとって環境とは何か		2	
	環境行動論		2	廃止 政策/建築は専門科目扱い
	生命・人間・倫理		2	看護は必修
しくみ (Social Studies)	現代経済論		2	
	びわ湖環境行政論		2	
	[近江文化論]	200	2	名称変更 「近江の歴史と文化」で読替え
	人間とことば		2	廃止
	異文化理解A		2	海外短期研修 (アメリカ)
	異文化理解B		2	海外短期研修 (中国)
	若者の健康と栄養		2	廃止
	地元学入門		2	廃止
	[社会福祉論]	200	2	名称変更 「地域社会福祉論」で読替え 看護は必修・優先
	性を考える	200	2	看護は卒業要件外
しぜん (Natural Sciences)	自然保護論		2	
	人間と自然界		2	廃止
	動物行動学		2	廃止
	滋賀の自然史	200	2	
	人類の起源と進化		2	廃止
	材料史		2	
	自然科学の視点		2	
	[空間計画論]		2	名称変更 「空間論」で読替え 環境は専門科目扱い
わざ (Technology)	詩歌と人間		2	廃止
	こころのテクノロジー	300	2	
	人間と病気		2	
	持続的農業論		2	
	比較都市論		2	
	[機械技術と人間]		2	名称変更 「機械の再発見」で読替え
	電子社会と人間		2	
	比較住居論	200	2	デザ、栄養、関係は専門科目扱い 教職希望者優先
	遺伝子と社会		2	廃止
追加科目	[地域探求学]		2	名称変更 「地域コミュニケーション論」で読替え
	多文化共生論		2	追加 奇数年度開講 看護は卒業要件外
	国際協力論		2	追加 偶数年度開講 看護は卒業要件外
	農業問題入門		2	追加 「農業経済学」に読替え、資源は専門科目扱い、他は他学部他学科
	[国際環境マネジメント]		2	名称変更 「国際環境マネジメントI」で読替え 看護は卒業要件外
	ビジネス・マネジメント入門		2	廃止
	自然現象のしくみ		2	追加 看護は卒業要件外
	水環境政策論		2	廃止 生態/政策/資源は専門科目扱い
	栄養と人間		2	追加 「栄養と健康」修得者は履修不可 栄養は履修不可
	明日から使える食のテクニック		2	廃止
	生活と健康		2	追加 看護は卒業要件外
	人間の行動と空間		2	追加 「環境行動論」修得者は履修不可 看護は卒業要件外
	現代社会と若者		2	廃止 看護は卒業要件外
	Medieval Japan		2	追加 看護は卒業要件外 使用言語：英語
	Modernizing Japan		2	追加 看護は卒業要件外 使用言語：英語
	地域づくり人材論		2	追加 看護は卒業要件外
	植物の病気		2	追加 看護は卒業要件外
	国際環境マネジメントII		2	追加 「国際環境マネジメント」修得者のみ履修可
	近江の暮らしとなりわい		2	追加
	近江の美		2	追加

2011 (平成23) 年度入学生用人間学科目一覧

クラスター	科目	定員	単位	備考
必修	[環境マネジメント総論]		2	廃止 「地域共生論」で読替え
	人間探求学		2	
こころ (Ethics)	差別と人権 (同和問題)		2	
	比較文明論		2	廃止 地域/デザ/栄養/関係は専門科目扱い
	東洋思想時空論		2	廃止
	セルフケア論 (心理臨床論)		2	廃止
	人間にとって環境とは何か		2	
	環境行動論		2	廃止 政策/建築は専門科目扱い
	生命・人間・倫理		2	看護は必修
しくみ (Social Studies)	現代経済論		2	
	びわ湖環境行政論		2	
	[近江文化論]	200	2	名称変更 「近江の歴史と文化」で読替え
	人間とことば		2	廃止
	異文化理解A		2	海外短期研修 (アメリカ)
	異文化理解B		2	海外短期研修 (中国)
	若者の健康と栄養		2	廃止
	地元学入門		2	廃止
	[社会福祉論]	200	2	名称変更 「地域社会福祉論」で読替え 看護は必修・優先
	性を考える	200	2	
[地域探求学]		2	名称変更 「地域コミュニケーション論」で読替え	
しぜん (Natural Sciences)	自然保護論		2	
	人間と自然界		2	廃止
	滋賀の自然史	200	2	
	材料史		2	
	自然科学の視点		2	
	[空間計画論]		2	名称変更 「空間論」で読替え 環境は専門科目扱い
わざ (Technology)	詩歌と人間		2	廃止
	こころのテクノロジー	300	2	
	人間と病気		2	
	持続的農業論		2	
	比較都市論		2	
	[機械技術と人間]		2	名称変更 「機械の再発見」で読替え
	電子社会と人間		2	
	比較住居論	200	2	デザ、栄養、関係は専門科目扱い 教職希望者優先
遺伝子と社会		2	廃止	
追加科目	多文化共生論		2	追加 奇数年度開講 看護は卒業要件外
	国際協力論		2	追加 偶数年度開講 看護は卒業要件外
	農業問題入門		2	追加 「農業経済学」に読替え、資源は専門科目扱い、他は他学部他学科
	[国際環境マネジメント]		2	名称変更 「国際環境マネジメントI」で読替え 看護は卒業要件外
	ビジネス・マネジメント入門		2	廃止
	自然現象のしくみ		2	追加 看護は卒業要件外
	水環境政策論		2	廃止 生態/政策/資源は専門科目扱い
	栄養と人間		2	追加 「栄養と健康」修得者は履修不可 栄養は履修不可
	明日から使える食のテクニック		2	廃止
	生活と健康		2	追加 看護は卒業要件外
	人間の行動と空間		2	追加 「環境行動論」修得者は履修不可 看護は卒業要件外
	現代社会と若者		2	廃止 看護は卒業要件外
	Medieval Japan		2	追加 看護は卒業要件外 使用言語：英語
	Modernizing Japan		2	追加 看護は卒業要件外 使用言語：英語
	地域づくり人材論		2	追加 看護は卒業要件外
	植物の病気		2	追加 看護は卒業要件外
	国際環境マネジメントII		2	追加 「国際環境マネジメント」修得者のみ履修可
	近江の暮らしとなりわい		2	追加
	近江の美		2	追加

2012（平成24）年度入学生用人間学科目一覧

クラスター	科目	定員	単位	備考
必修	[環境マネジメント総論]		2	廃止 「地域共生論」で読替え
	人間探求学		2	
こころ (Ethics)	差別と人権（同和問題）		2	
	比較文明論		2	廃止 地域は専門科目扱い
	セルフケア論（心理臨床論）		2	廃止
	人間にとって環境とは何か		2	
	環境行動論		2	廃止 政策/建築は専門科目扱い
	生命・人間・倫理		2	看護は必修
しくみ (Social Studies)	現代経済論		2	
	びわ湖環境行政論		2	
	[近江文化論]	200	2	名称変更 「近江の歴史と文化」で読替え
	異文化理解A		2	海外短期研修（アメリカ）
	異文化理解B		2	海外短期研修（中国）
	若者の健康と栄養		2	廃止
	地元学入門		2	廃止
	[社会福祉論]	200	2	名称変更 「地域社会福祉論」で読替え 看護は必修・優先
	性を考える	200	2	
	[地域探求学]		2	名称変更 「地域コミュニケーション論」で読替え
	国際協力論		2	偶数年度開講
	多文化共生論		2	奇数年度開講
	農業問題入門		2	資源は専門科目扱い
[国際環境マネジメント]		2	名称変更 「国際環境マネジメントⅠ」で読替え	
ビジネス・マネジメント入門		2	廃止	
しぜん (Natural Sciences)	自然保護論		2	
	人間と自然界		2	廃止
	滋賀の自然史	200	2	
	材料史		2	
	自然科学の視点		2	
	[空間計画論]		2	名称変更 「空間論」で読替え 環境は専門科目扱い
	自然現象のしくみ		2	
	水環境政策論		2	廃止 生態/政策/資源は専門科目扱い
わざ (Technology)	こころのテクノロジー	300	2	
	人間と病気		2	
	持続的農業論		2	
	比較都市論		2	
	[機械技術と人間]		2	名称変更 「機械の再発見」で読替え
	電子社会と人間		2	
	比較住居論	200	2	デザ、栄養、関係は専門科目扱い 教職希望者優先
	遺伝子と社会		2	廃止
	栄養と人間		2	看護は必修
	明日から使える食のテクニク		2	廃止
生活と健康		2		
追加科目	人間の行動と空間		2	追加 「環境行動論」修得者は履修不可 看護は卒業要件外
	現代社会と若者		2	廃止 看護は卒業要件外
	Medieval Japan		2	追加 看護は卒業要件外 使用言語：英語
	Modernizing Japan		2	追加 看護は卒業要件外 使用言語：英語
	地域づくり人材論		2	追加 看護は卒業要件外
	植物の病気		2	追加 看護は卒業要件外
	国際環境マネジメントⅡ		2	追加 「国際環境マネジメント」修得者のみ履修可
	近江の暮らしとなりわい		2	追加
	近江の美		2	追加

2013（平成25）年度入学生用人間学科目一覧

クラスター	科目	定員	単位	備考	
必修	[環境マネジメント総論]		2	廃止	「地域共生論」で読替え
	人間探求学		2		
こころ (Ethics)	差別と人権（同和問題）		2		
	比較文明論		2	廃止	地域は専門科目扱い
	セルフケア論（心理臨床論）		2	廃止	
	人間にとって環境とは何か		2		
	人間の行動と空間		2		
	生命・人間・倫理		2		看護は必修
しくみ (Social Studies)	現代経済論		2		
	びわ湖環境行政論		2		
	[近江文化論]	200	2	名称変更	「近江の歴史と文化」で読替え
	異文化理解A		2		海外短期留学（アメリカ）
	異文化理解B		2		海外短期留学（中国）
	若者の健康と栄養		2	廃止	
	地元学入門<副専攻科目>		2	廃止	
	[社会福祉論]	200	2	名称変更	「地域社会福祉論」で読替え 看護は必修・優先
	性を考える	200	2		
	[地域探求学<副専攻科目>]		2	名称変更	「地域コミュニケーション論」で読替え
	国際協力論		2		偶数年度開講
	多文化共生論		2		奇数年度開講
	農業問題入門		2		
	[国際環境マネジメント]		2	名称変更	「国際環境マネジメントⅠ」で読替え
	ビジネス・マネジメント入門		2	廃止	
	現代社会と若者		2	廃止	
	憲法		2		
	Medieval Japan		2		使用言語：英語
Modernizing Japan		2		使用言語：英語	
地域づくり人材論<副専攻科目>		2			
しぜん (Natural Sciences)	自然保護論		2		
	滋賀の自然史	200	2		
	材料史		2		
	自然科学の視点		2		
	[空間計画論]		2	名称変更	「空間論」で読替え 環境は専門科目扱い
	自然現象のしくみ		2		
水環境政策論		2	廃止	生態/政策/資源は専門科目扱い	
わざ (Technology)	こころのテクノロジー	300	2		
	人間と病気		2		
	持続的農業論		2		
	比較都市論		2		
	[機械技術と人間]		2	名称変更	「機械の再発見」で読替え
	電子社会と人間		2		
	比較住居論	200	2		デザ、栄養、関係は専門科目扱い 教職希望者優先
	栄養と人間		2		看護は必修
	明日から使える食のテクニク		2	廃止	
	生活と健康		2		
植物の病気		2			
追加科目	国際環境マネジメントⅡ		2	追加	「国際環境マネジメント」修得者のみ履修可
	近江の暮らしとなりわい		2	追加	
	近江の美		2	追加	

2014（平成26）年度入学生用人間学科目一覧

クラスター	科目	定員	単位	備考
必修	[環境マネジメント総論]		2	廃止 「地域共生論」で読替え
	人間探求学		2	
こころ (Ethics)	差別と人権（同和問題）		2	
	比較文明論		2	廃止 地域は専門科目扱い
	セルフケア論（心理臨床論）		2	廃止
	人間にとって環境とは何か		2	
	人間の行動と空間		2	
	生命・人間・倫理		2	看護は必修
しくみ (Social Studies)	現代経済論<キャリア教育推奨>		2	
	びわ湖環境行政論		2	
	[近江文化論]	200	2	名称変更 「近江の歴史と文化」で読替え
	異文化理解A		2	
	異文化理解B		2	
	若者の健康と栄養		2	廃止
	地元学入門<副専攻科目>		2	廃止
	[社会福祉論]	200	2	名称変更 「地域社会福祉論」で読替え 看護は必修・優先
	性を考える	200	2	
	[地域探求学<副専攻科目>]		2	名称変更 「地域コミュニケーション論」で読替え
	国際協力論		2	偶数年度開講
	多文化共生論		2	奇数年度開講
	農業問題入門		2	
	[国際環境マネジメント]		2	名称変更 「国際環境マネジメントⅠ」で読替え
	現代社会と若者<キャリア教育推奨>		2	廃止
	憲法<キャリア教育推奨>		2	
	Medieval Japan		2	
	Modernizing Japan		2	
地域づくり人材論<副専攻科目>		2		
しぜん (Natural Sciences)	自然保護論		2	
	滋賀の自然史	200	2	
	材料史		2	
	自然科学の視点		2	
	空間論		2	
	自然現象のしくみ		2	
	水環境政策論		2	廃止 生態/政策/資源は専門科目扱い
わざ (Technology)	こころのテクノロジー	300	2	
	人間と病気		2	
	持続的農業論		2	
	比較都市論		2	
	[機械技術と人間]		2	名称変更 「機械の再発見」で読替え
	電子社会と人間		2	
	比較住居論	200	2	デザ、栄養、関係は専門科目扱い 教職希望者優先
	栄養と人間		2	看護は必修
	明日から使える食のテクニク		2	廃止
	生活と健康			
	植物の病気		2	
追加科目	国際環境マネジメントⅡ		2	追加 「国際環境マネジメント」修得者のみ履修可
	近江の暮らしとなりわい		2	追加
	近江の美		2	追加

(2) 学部学科科目の履修について

卒業要件単位数は入学年度の履修の手引で確認してください。

① 読替えについて

入学年度により、下記に示した新科目名は、旧科目名に読み替えます。ただし、旧科目名で単位を修得した科目については、新科目名で新たに単位を修得することはできません。

■環境生態学科

対象	旧科目名	新科目名	備考
平成23年度以前入学生	持続可能社会論	環境経済学入門	
	エコロジー経済学	環境財政	
平成25年度以前入学生	水文学	環境水文学	

■環境政策・計画学科

対象	旧科目名	新科目名	備考
平成22年度以前入学生	経営組織論	組織とネットワークの社会学	
	社会システム基礎論	社会変動論	
平成23年度以前入学生	持続可能社会論	環境経済学入門	
	環境法Ⅰ	環境法	
	ファシリテーション技法	ファシリテーション技法・演習	
	ファシリテーション技法演習		
	社会システム分析設計	社会システム分析・設計演習	
	社会システム分析設計演習		
	合意形成支援技法	合意形成支援技法・演習	
	合意形成支援技法演習		
	イベント計画論	イベント計画論・演習	
	イベント計画演習		
	エコロジー経済学	環境財政	
	社会心理学	環境心理学	
環境アセスメント演習	政策計画基礎演習Ⅱ		
卒業研究		卒業研究Ⅰ	
		卒業研究Ⅱ	
平成25年度以前入学生	水文学	環境水文学	
	コミュニティ計画論	サステナブルデザイン論	

■環境建築デザイン学科

対象	旧科目名	新科目名	備考
平成23年度以前入学生	持続可能社会論	環境経済学入門	
	エコロジー経済学	環境財政	
平成25年度以前入学生	コミュニティ計画論	サステナブルデザイン論	
	環境共生デザイン	環境共生論	
	地域産学連携実習	地域産学連携実習Ⅰまたは 地域産学連携実習Ⅱ	

■生物資源管理学科

対象	旧科目名	新科目名	備考
平成22年度以前入学生	植物生化学	環境植物生理学	
	農産物マーケティング論	食料経済システム論	
平成23年度以前入学生	持続可能社会論	環境経済学入門	
	エコロジー経済学	環境財政	
	農業経済学	農業問題入門	
	環境法 I	環境法	
平成25年度以前入学生	水文学	環境水文学	
	魚類生理学	魚類学	
平成26年度以前入学生	—	養魚飼料学	卒業要件に含めることができる

■材料科学科

対象	旧科目名	新科目名	備考	
平成19年度以前入学生	物理学C、物理学A	基礎力学		
	基礎有機化学	基礎化学		
	基礎物理化学	電子と化学結合		
	物理学B	基礎電磁気学		
	物理化学A I	基礎熱力学		
	結晶構造解析	基礎結晶学		
	有機化学A I	有機化学 I		
	基礎数学	確率統計		
	基礎電子回路	基礎電気電子回路		
	物理化学A II	化学熱力学		
	有機化学A II	有機化学 II		
	数学演習B	微分方程式		
	有機化学演習	有機化学総合および同演習		
	環境安全化学	物理化学総合および同演習		
	物理化学B I	反応速度論		
	有機化学B I	有機化学 III		
	材料外国語演習	科学技術英語		
	物理化学B II	電気化学		
	環境材料	固体物性基礎		
	有機化学B II	有機化学 IV		
	生体機能化学	材料計算化学および同演習		
	電子材料	材料開発工学		
	先端材料科学および演習	先端材料科学		
	界面科学	エネルギー・界面科学		
	高分子機能材料	有機量子化学		
		有機工業材料		
	産業マネジメント	産業技術マネジメント		
	平成25年度以前入学生	材料科学実験	材料科学実験 I	
			材料科学実験 II	
	卒業研究	卒業研究 I		
卒業研究 II				
平成26年度以前入学生	材料力学 I	材料力学		

■電子システム工学科

対象	旧科目名	新科目名	備考
平成25年度以前入学生	電子システム工学演習Ⅲ	電気電子設計製図	平成28年度より開講
	情報理論	通信情報理論	
	マルチメディア	通信システム工学	平成28年度より開講
	インターネット工学	通信ネットワーク工学	平成28年度より開講

■地域文化学科

対象	旧科目名	新科目名	備考
平成22年度以前入学生	社会学	社会学概論	
	民衆芸能論	文化社会学	
	社会統計学	量的データ解析論Ⅰ	
	応用データ解析論	量的データ解析論Ⅱ	
平成23年度以前入学生	考古地理実習Ⅰ	地域文化基礎演習	
	朝鮮文化論	国際コミュニケーション学科科目: アジア文化論B	
	モンゴル語Ⅰ	国際コミュニケーション学科科目: モンゴル語ⅠA モンゴル語ⅠB	
	モンゴル語Ⅱ	国際コミュニケーション学科科目: モンゴル語ⅡA モンゴル語ⅡB	
	中国・内モンゴル地域文化論	国際コミュニケーション学科科目: 多民族社会論B	
	インド・チベット地域文化論	国際コミュニケーション学科科目: アジア文化論D	
	美術史	美術史B	
	アジア・地域交流論C	東アジア考古学概論	
	考古地理実習ⅡA	考古学実習Ⅰ 考古学実習Ⅱ	
	考古地理実習ⅡB	地理学実習Ⅰ 地理学実習Ⅱ	
	日本文化史論Ⅰ	日本文化史論A	
	朝鮮地域文化論A	朝鮮地域文化論	
	中国語文献講読	アジア文献講読C	
	朝鮮語文献講読	アジア文献講読A	
	モンゴル地域文化論	国際コミュニケーション学科科目: アジア文化論C	
	モンゴル語史料(カギル式文字)講読	国際コミュニケーション学科科目: モンゴル語史料講読ⅠA モンゴル語史料講読ⅠB	
	現代モンゴル語文献講読	国際コミュニケーション学科科目: モンゴル語コミュニケーションⅡA モンゴル語コミュニケーションⅡB	
	朝鮮語会話	国際コミュニケーション学科科目: 朝鮮語コミュニケーションⅡA 朝鮮語コミュニケーションⅡB	
	美術史概論	美術史A	
	考古学特論	考古学特論B	
	アジア・地域交流論A	東アジア世界論	
	日本文化史論Ⅱ	日本文化史論B	

対象	旧科目名	新科目名	備考
平成23年度以前入学生	対外文化交流論C	国際コミュニケーション学科科目: 移民社会論 C	
	農耕社会論	国際コミュニケーション学科科目: アジア文化特論 C	
	アジア・地域交流論B	国際コミュニケーション学科科目: 異文化交流史	
	朝鮮地域文化論B	国際コミュニケーション学科科目: アジア文化特論 B	
	チベット語基礎	国際コミュニケーション学科科目: チベット語基礎 I チベット語基礎 II	

■生活デザイン学科

対象	旧科目名	新科目名	備考
平成22年度以前入学生	生活造形基礎演習 I 生活造形基礎演習 II	生活造形基礎演習	
	—	道具デザイン論	卒業要件に含めることができる
	—	サステナブルデザイン論	卒業要件に含めることができる
	—	消費者行動論	卒業要件に含めることができる
	—	服飾心理学	卒業要件に含めることができる
平成23年度以前入学生	—	マーケティングリサーチ論	卒業要件に含めることができる
平成24年度以前入学生	—	インテリアコーディネート概説	卒業要件に含めることができる
	住居計画論	建築計画論	
平成25年度以前入学生	—	テキスタイルデザイン論	卒業要件に含めることができる
平成26年度以前入学生	—	服飾文化論	卒業要件に含めることができる

■生活栄養学科

対象	旧科目名	新科目名	備考	
平成23年度以前入学生	栄養教育論	栄養教育論 I		
	栄養アセスメント演習	栄養教育論 II		
	カウンセリング論演習	栄養教育論 III (含カウンセリング論演習)		
	栄養ケアマネジメント演習	臨床栄養学 III		
	臨床栄養学実習		臨床栄養学実習 I	
			臨床栄養学実習 II	
	栄養ケアマネジメント論実習	臨床栄養学実習 III		
	給食管理実習	給食経営管理実習		
	食生活論演習	生活栄養論演習 I		

■人間関係学科

対象	旧科目名	新科目名	備考
平成22年度以前入学生	社会病理学	社会問題の社会学	
	経営組織論	組織とネットワークの社会学	
	社会システム基礎論	社会変動論	
	社会学	社会学概論	
	応用データ解析論	量的データ解析論Ⅰ	
	社会論演習	社会学演習	
平成24年度以前入学生	教育方法の理論と技術	量的データ解析論Ⅱ	
平成26年度以前入学生	人間形成論	教育方法論	
		人間形成論 A 人間形成論 B	

■人間看護学科

平成24年度からカリキュラムが大幅に変更しているため、平成23年度以前の入学生の読替えについては、個別にお問い合わせください。

■教職関係

対象	旧科目名	新科目名	備考
平成23年度以前入学生	農業経済学	農業問題入門	高校・農業(資源)
平成24年度以前入学生	教育方法の理論と技術	教育方法論	教職に関する科目
平成25年度以前入学生	水文学	環境水文学	中高・理科(生態・資源)
	材料科学実験	材料科学実験Ⅰ	高校・理科(材料)
		材料科学実験Ⅱ	
	電子システム工学演習Ⅲ	電気電子設計製図	高校・情報(電子)
	情報理論	通信情報理論	
	マルチメディア	通信システム工学	
	インターネット工学	通信ネットワーク工学	
平成26年度以前入学生	材料力学Ⅰ	材料力学	高校・理科(材料)
	保育学	保育学 A	中高・家庭(デザ)
		保育学 B	中高・家庭(栄養)

■学芸員関係

対象	旧科目名	新科目名	備考
平成23年度以前入学生	博物館学各論 A	博物館経営論	
	博物館学各論 B	博物館資料論	
	視聴覚教育	博物館情報・メディア論	

■その他資格関係

入学年度の履修の手引で取得可能と記載された資格に加えて、次の資格も取得可能となりました。必要科目・単位、条件等は教務グループまでお問い合わせください。

資格名	対象学科
自然再生士補	環境政策・計画学科
施工管理技士受験資格	環境建築デザイン学科、機械システム工学科、電子システム工学科
NR・サプリメントアドバイザー受験資格	生活栄養学科

(3) 近江楽士（地域学）副専攻関連科目の履修について

近江楽士（地域学）副専攻を修了し、コミュニティ・ネットワーク（近江楽士）の称号を授与されるためには、下表の関連科目から、次に示した修了要件を満たすよう単位を取得する必要があります。

■2014(平成26)年度以前入学生用

ア 副専攻修了要件

平成27年度から、副専攻修了要件が変更になります。

選択専門科目が修了要件ではなくなり、基礎選択科目が選択科目に変わります。

必修科目	: 2科目 4単位
選択必修科目から	: 4科目 8単位以上
選択科目から	: 2科目 4単位以上
計	: 8科目 16単位以上

イ 副専攻科目配当表

平成27年度または平成28年度から廃止になる科目がありますので、十分に留意してください。

① 必修科目：2科目 4単位

科目名	配当年次	単位数	備考
地域実践学Ⅰ(注1)	1～4 前	2	平成27年度まで開講。平成28年度から「地域デザインB」で読替
地域実践学Ⅱ(注1)	1～4 後	2	平成27年度まで開講。平成28年度から「地域デザインC」で読替

② 選択必修科目：4科目 8単位以上

科目名	配当年次	単位数	備考
地元学入門		2	廃止
地域探求学	1夏季集中	2	廃止 「地域コミュニケーション論」で読替 人間学科目
地域行動論	3 前	2	平成27年度まで開講。平成28年度から「問題解決デザイン論」で読替
地域再生システム論(注2)	1～4 前	2	平成27年度まで開講。平成28年度から「地域デザインA」で読替
地域診断法	1～4 後	2	
地域づくり人材論	3 前	2	

③ 選択科目：2科目 4単位以上

科目名称		配当年次	単位数	備考
人間学	人間の行動と空間(注3)	1～4 前	2	
	材料史	1～4 前	2	
	比較都市論	1～4 前	2	
	比較住居論(注4)	1～4 前	2	
	生命・人間・倫理	1～4 後	2	
	びわこ環境行政論	1～4 後	2	
	(近江文化論)	1～4 後	2	「近江の歴史と文化」で読替
	(社会福祉論)	1～4 後	2	「地域社会福祉論」で読替
	滋賀の自然史	1～4 後	2	
	自然科学の視点	1～4 後	2	
	機械技術と人間	1～4 後	2	「機械の再発見」で読替
	電子社会と人間	1～4 後	2	
	国際協力論(注5)	1～4 前	2	平成27年度不開講
	多文化共生論(注5)	1～4 前	2	

	科目名称	配当年次	単位数	備考
環びわ湖大学・地域 コンソーシアム単位 互換科目	滋賀論(聖泉大学)	1~4 夏季集中	2	
	滋賀の環境(びわこ学院大学)	1~4 後	2	
	近江学A(成安造形大学)(注5)	1~4 前	2	
	近江学B(成安造形大学)(注5)	1~4 前	2	平成27年度不開講

(注1)2011(H23)入学生は「地域実践学実習Ⅰ」に読み替える。

(注2)環境政策・計画学科、環境建築デザイン学科、生活デザイン学科においては各学科の専門科目であり、専門科目の配当年次に従って履修すること。

(注3)2012(H24)以前入学生で「環境行動論」を履修済みの学生は履修不可。

(注4)生活デザイン学科、生活栄養学科、人間関係学科の学生については、専門科目として扱われる。

(注5)隔年開講

